

## 第2学年 生活科学習指導案

い組 男子 17 名 女子 18 名 計 35 名

指導者 寶地 拓也

### 1 単元 大すき やさいさん

### 2 単元について

#### (1) 単元の位置とねらい

この期の子どもたちは、第1学年小単元「きれいな花を咲かせよう」の活動でアサガオを育てる活動を通して、アサガオの世話をしながら生長の過程を学んできている。また、第2学年「やったぞ2年生」の活動で1年生のときに育てて収穫したアサガオの種を新1年生にプレゼントできた喜びから、アサガオを育てたときに身に付けた観察の仕方や世話の仕方を生かして『他の植物も育てて誰かを喜ばせたい』という思いや願いをもつようになってきている。

そこで、本単元では植物とのかかわりをさらに深めるために、自分の思いや願いを基に、野菜を育てて収穫する活動に主体的・能動的に取り組ませる中で、『自分の野菜を大きくて、おいしい野菜にして収穫したい』という思いや願いを達成していく楽しさを味わわせながら、活動の意欲を高めようとするものである。同時に、これまでの栽培経験を基に、諸感覚を使って野菜にかかわり、自分と友達との観察や世話の仕方を比べて、気付いたことを伝えながら野菜の観察や世話の仕方を自分なりに工夫する力を培おうとするものである。また、野菜は生命をもち、生長していくことに気付くようにするものでもある。さらには、自分の力で観察や世話をすることができた経験から、自分のよさや成長に気付く、これまで以上に植物への親しみをもち、かかわっていくことができるようになることをねらっている。

なお、これらの活動は、『もっといろいろな生き物を育ててみたい』『ほかの生き物も観察してみたい』という思いや願いとして、「見て見て小さな生きもの」の活動へと発展していくものである。

#### (2) 指導の基本的な立場

野菜は、毎日の食事の中にも取り入れられており、子どもたちにとって大変身近な植物である。また、1年生で育てたアサガオやビオラと違い、収穫して食べることができるところに大きな喜びがある。子どもたちが野菜の栽培に主体的・能動的に取り組む原動力となるのは、この収穫への期待である。自ら苗を選択して購入し、継続的に観察や世話を行うという一連の栽培活動の中で、成果が確かな実りとして表れ、発見の喜びや生長の楽しみ、願いが叶った成就感を味わうことができる。本単元で用いる野菜（ミニトマト・トマト・ナス・ピーマン・キュウリ・ニガウリ）は、子どもたちの食生活になじみ深く、栽培方法も比較的容易で、世話の仕方によっては、たくさん収穫できる野菜である。また、これらの野菜は、生長の様子や特徴が捉えやすく、アサガオの栽培経験や諸感覚を使った観察から、新たな発見や疑問を持ちながら、試行錯誤して世話をするすることができるものである。

そこで本単元の展開に当たっては、このような野菜の栽培活動に主体的に取り組む、野菜に対する気付きを広げたり深めたりするために、諸感覚を使った観察で得た気付きやこれまでの経験を比較、関連付けるなどしながら野菜の特徴や世話の仕方などの新たな気付きや活動を見出す交流活動を重点化していきたい。

具体的には、まず、「野菜さんこんにちは」の活動で、『大きくて、おいしい野菜に育てたい』という思いや願いを高めるために、木市に出かけ、野菜を購入する活動を設定していきたい。次に「野菜を世話しよう」の活動では、苗の購入、植え付けの活動で高まった思いを基に、継続して観察や世話をする活動を設定したい。ここでは、諸感覚を使って自分の野菜をじっくりと観察させたり、気付いたことを伝え合ったりさせながら、野菜の特徴や生長の様子、よりよい世話の仕方に気付かせていくようにしたい。観察については、国語科の「かんさつ名人になろう」と関連させながら学習を進めていきたい。さらに、「野菜を収穫しよう」「野菜のお世話を振り返ろう」の活動では、収

穫の喜びを味わわせる中で、自分の取り組み方を紹介する活動を設定し、自分の力で野菜を育てあげることができた自分のよさや成長にも気付くことができるようにしたい。

このような活動を通して、子どもたちは、身近な自然を自分とのつながりで捉えながら、活動に対する成就感や満足感を味わうと共に、自分のよさや成長を実感し、生き物への親しみをもち、大切にしていこうとする態度を高めることができる。このような学習を積み重ねることで、身近な自然への認識を深めたり、生活上必要な習慣技能を身に付けたりしながら、自分のよさや可能性を実感し、自信と意欲をもって、主体的に学んだり、生活しようとしたりしていく。

### (3) 子どもの実態（対象者 い組 35 名、数値は延べ人数）

|                                  |                         |
|----------------------------------|-------------------------|
| <b>&lt;栽培への関心・意欲&gt;</b>         |                         |
| ○栽培したい…35 名                      |                         |
| ・おいしく食べたい…9 名                    | ・家族に食べさせたい…8 名          |
| ・野菜が好き…5 名                       | ・楽しそう…4 名               |
| ・観察したい…4 名                       | ・達成感がある…3 名             |
| ・野菜にくわしくなるから…2 名                 |                         |
| <b>&lt;これまでの栽培経験&gt;（複数回答）</b>   |                         |
| ○ある…23 名      ○ない…12 名           |                         |
| 《具体例》・トマト…12 名    ・きゅうり…5 名      |                         |
| ・ねぎ、ブロッコリー各…3 名・                 |                         |
| ・ピーマン、枝豆、なす、キャベツ…各 2 名           |                         |
| <b>&lt;野菜の世話の必要性&gt;（複数回答）</b>   |                         |
| ・水かけ…30 名                        | ・肥料やり…12 名    ・土ほぐし…7 名 |
| ・日光に当てる…5 名                      | ・声掛け…5 名    ・観察…4 名     |
| ・水をあげすぎない、虫取り、草取り…各 2 名          |                         |
| <b>&lt;アサガオ栽培時の友達との比較&gt;</b>    |                         |
| ○比べた…20 名      ○比べていない…15 名      |                         |
| ・アサガオへの気付き…16 名（花の数、背の高さなど）      |                         |
| ・友達の取り組み方への気付き…2 名（水の与え方など）      |                         |
| <b>&lt;困ったときにどうするか&gt;（複数回答）</b> |                         |
| ・本で調べる…22 名                      | ・家族に聞く…21 名             |
| ・自分で考える…各 20 名                   | ・先生に聞く…14 名             |
| ・友達に聞く…8 名                       |                         |
| <b>&lt;収穫後の思いや願い&gt;</b>         |                         |
| ・家族にプレゼント…27 名                   | ・食べる…16 名               |
| ・観察…5 名                          | ・大きさを比べる…3 名            |

本学級の子どもたちは、全員栽培に対して意欲が高い。また、半数以上の子どもが野菜の栽培経験をしたことがある。しかし、栽培経験がない子どももいる。さらに、野菜の栽培に必要な世話の仕方に気付いていない子どもも多い。そこで、特徴の異なる 6 種類の野菜の中から、育てたい野菜を選んで栽培活動に取り組ませる中で、アサガオと野菜の生長を比較させたり、違う野菜同士を比較させたりしながら、野菜には多様な世話があることに気付かせていく必要がある。

アサガオの栽培時には、友達の取組を自分の取組に生かそうとする姿までは至っておらず、困ったときの解決方法としては、本で調べることと、家族や教師へのインタビューが中心である。そこで、観察や世話の仕方を比べ合っ

たり、伝え合ったりする活動や、情報交換ができる場を設定していくことが必要である。

収穫後は、家族にプレゼントしたり、食べたりしたいと願っている。そこで、成就感を実感させるために、収穫の喜びを家族と分かち合ったり、収穫時の気持ちや野菜の味を友達に紹介したりする活動を設定していく必要がある。

### (4) 指導上の留意点

ア 「野菜さんこんにちは」の活動では、『野菜を大きくおいしく育てて収穫したい』という思いや願いを高めるために、実物や写真を提示する。さらに、栽培意欲を高めるために、春の木市へでかけ、育てたい野菜の苗を選択し購入したり、収穫後の思いや願いを伝え合ったりさせる。

イ 「野菜の世話をしよう」の活動では、自分の力で野菜が生長したという喜びや野菜への気付きを深めるために、教室の前で栽培させ、日常的にかかわりやすい環境を整える。また、諸感覚を使って観察させるために、子ども一人一人を見取りながら、特に、諸感覚を使って観察している子どもを価値付けたり意味付けたりして、全体に広がるような手立てを行う。そして、野菜の生長や面白さに気付くことができるようにするために、アサガオの生長を思い出させたり、自分の野菜と同じ野菜同士や違う野菜を比べさせたりする活動を設定する。さらに、よりよい世話の仕方に気付かせるために、自分と友達の野菜とを比較させながら、自分かかわり方を見直したり、友達の取組のよさを取り入れたりするなど、比較や関連付けることを通して、気付いたことを交流する活動を設定する。

ウ 「野菜さんを収穫しよう」の活動では収穫できた喜びや成就感を深めるために、収穫した実を

家族にプレゼントするとともに、収穫時の気持ちや収穫できた実、味をワークシートに絵や言葉で表現し、それを紹介する活動を設定し、互いに喜びを分かち合えるようにしていく。

エ 「野菜さんのお世話を振り返ろう」の活動では、自分のかかわり方のよさに気付かせるために、自分の野菜の生長を紹介し合ったり、野菜に手紙を書いたりする活動を設定する。その際、「トマトさんに水をあげたら喜んでいたね。」等と、野菜への自分のかかわりを想起させながらかかわることで、自分の取り組み方のよさに気付かせ、今後もさらに植物へ親しみをもってかかわろうという気持ちをもてるようにする。

### 3 目 標

- (1) 『自分の野菜を大きくおいしく育てて収穫したい』という思いや願いを基に、諸感覚を使った栽培活動や友達との交流を通して、選んだ野菜を育てる活動に意欲的に取り組むことができる。
- (2) これまでの栽培経験や同じ野菜を育てている友達との情報交換や野菜作りに詳しい木市の人や身近な人に尋ねたことなどを基に、諸感覚を使って自分の野菜を観察し、試行錯誤しながら世話をすることができる。また、観察したことや世話したことを絵や文に表すことができる。
- (3) 自分の野菜が生命をもつことや生長していることに気付き、自分の野菜に愛着をもって心を寄せながら大切に育てることができる。また、野菜を生長させることができた自分のよさや成長に気付くことができる。

### 4 指導計画（全 11 時間）

| 活動する<br>楽しさ                       | 活 動 名<br>(思いの連続と気付きの様相)                                                                         | 主 な 学 習 活 動<br>( 時 間 )                                                                                                               | 学習形態・環境構成<br>教師の具体的な働きかけ                                                          |
|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| ○野菜と出会い、自分の野菜をこれから育ていこうとする楽しさ     | ・1年生にアサガオの種をプレゼントできたよ。<br>・2年生でも何か育ててみたいな。                                                      | 前単元「やったぞ2年生」                                                                                                                         | ・野菜の栽培意欲を高めるために、自分の野菜の苗を買に行く計画を立てさせる。                                             |
| ○自分の野菜を選び、購入することができる楽しさ           | 野菜さんこんにちは (4時間)                                                                                 | 育てる野菜を決め、木市に買いに行く計画を立てる。(1)<br>市電に乗って木市に行き、自分で選んだ野菜の育て方を聞きながら購入する。(2)                                                                | ・日常的にかかわらせるために、教室前で栽培させる。                                                         |
| ○自分の手で野菜を植えることができる楽しさ             | ・野菜を育てたいな。<br>・自分で苗を選びたいな。<br>・早く大きくなってね。<br>・おいしくなるといいな。<br>・どんなお世話をするのかな。                     | 鉢に土作りをし、購入した野菜の苗を鉢に植え、これから活動したいことを話し合う。(1)                                                                                           | ・国語科の「かんさつ名人になろう」と関連させながら観察の仕方や記録の書き方について話し合わせる。                                  |
| ○野菜の生長を感じる楽しさ                     | 野菜さんのお世話をしよう (5時間)                                                                              | 諸感覚を使った野菜の観察の楽しさや世話の仕方を話し合ったり、観察カードの書き方について話し合ったりする。(1)                                                                              | ・諸感覚を使って観察している子どもを価値付けし、全体へ広げ、自分なりの方法で記録できるように観察カードの形式を多様に準備する。                   |
| ○野菜の観察を工夫し、かかわりを深める楽しさ            | ・毎日水かけががんばるぞ。<br>・野菜がたおれているよ。<br>・支柱を立てたよ。<br>・葉っぱの色がおかしいぞ。<br>・友達の野菜はどうかな。<br>・よし。友達のまねをしてみよう。 | 諸感覚を使って野菜の育ち方を観察し、お世話をするとともにこれからのかかわり方を話し合う。また、観察や世話をする中で、自分と友達の野菜とを比べ、その違いからよりよいかかわり方について考え、野菜とのかかわりを深める。<br><b>&lt;本時&gt;(3/4)</b> | ・観察や世話の仕方を工夫させるために、友達の野菜と比較させ、情報交換をさせる。                                           |
| ○諸感覚を使った観察から世話の仕方を工夫することができる楽しさ   | 野菜さんを収穫しよう (1時間)                                                                                | 自分が育てた野菜を収穫し、家族にプレゼントする。またその喜びの気持ちを伝え合い、収穫後のことについて発表する。(1)                                                                           | ・困ったことを自分なりに解決させるために本や世話の仕方の紹介コーナーを作る。                                            |
| ○友達と協力して観察や世話の仕方を工夫することができる楽しさ    | ・やった！大きな実がなったよ。<br>・すごいで。たくさんできた。<br>・おいしいね。うれしいな。<br>・家族に食べてもらいたいな。<br>・がんばってよかった！             |                                                                                                                                      | ・自分の野菜への愛着を深めるため、観察の視点を基に同じ野菜と比較させ、そこから得た気付きを交流させる。                               |
| ○大きくなった自分の野菜を収穫できる楽しさ             | 野菜さんのお世話を振り返ろう (1時間)                                                                            | これまでの活動を振り返る中で、野菜の生長を紹介したり、野菜への手紙を書いたりする。また、今後の生活の中で、植物を工夫して観察したり、育てたりしながら世話していくことを考える。(1)                                           | ・野菜の生長や自分の取組のよさを振り返らせるために、観察カードを蓄積させる。                                            |
| ○自分の野菜へのかかわり方のよさや自分自身の成長を実感できる楽しさ | ・大きく生長させることができた私って<br>・お世話をすると、野菜さんが喜んでくれて、嬉しかったよ。<br>・もっと他の野菜も育ててみたいな。                         |                                                                                                                                      | ・野菜の生長に気付かせるために、植え付け後と収穫時の観察カードを比較させる。<br>・今後の活動に意欲をもたせるために、夏季休業中の栽培方法について話し合わせる。 |

## 5 本 時（8／11）

### （1）目 標

『自分の野菜をもっと大きく育てたい』という思いや願いを基に、進んで野菜を観察する中で、諸感覚を使って観察しながら、これまでの経験を生かしたり友達の野菜と比べたりして、自分の野菜に必要な世話、自分や友達の取り組み方のよさに気付くことができる。

### （2）本時の展開に当たって

これまでの経験を生かしながら、自分の野菜に必要な世話に気付くことができるようにするために、野菜の生長の様子を掲示したり、同じ種類の野菜同士を近くになるようにしたりするなど、これまでの野菜の生長や友達の野菜との比較が生まれる場づくりを行う。その際、「友達の野菜はどうなっているかな。」と問いかけ、友達の野菜と比較させ、友達の取り組み方のよさに気付かせたり、「葉っぱに元気がないときは、どうしたらいいかな。」と、これまでの経験と今の野菜の状態を関連付けさせたりしながら、新たな活動を見いだすことができるようにする。

### （3）準 備

自分が育てている野菜、観察カード、探検バック、発見ボード、付箋 等

### （4）展 開

| 時間 | 主 な 学 習 活 動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 教師の具体的な働きかけ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5  | <p>1 これまでの野菜の生長や世話を振り返り、本時の学習について話し合う。</p> <p>・買ったときより随分大きくなっているな。<br/>・早く実がなっているな。<br/>・ぼくの野菜は元気か知りたいな。</p> <p>やさいさんのけんこうかんさつをしよう。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                | <p>○ 『野菜の喜ぶ世話をしたい。』という思いや願いを高めるために、野菜の生長や世話の様子を写真を掲示し、「野菜さんのためにどんなことをしたいかな。」と問いかける。</p> <p>○ 観察の際、自分と友達の野菜を比較する活動が自然と生まれるようにするために、同じ種類の野菜が近くになるような場作りをする。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 5  | <p>2 観察の仕方を確認する。</p> <p>諸感覚を使った観察</p> <p>見る 触る 匂う 聴く かける 話し</p> <p>・野菜さんのことを詳しく観察するぞ。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <p>○ 友達の取り組み方のよさに気付くことができるようにするために、「友達の野菜はどうなっているかな。同じような様子をしているかな。」と友達の野菜との比較を促す問いかけをする。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 25 | <p>3 友達と交流しながら観察する。</p> <p>自分の野菜</p> <p>・葉っぱが黄色くなって元気がないな。<br/>・蔓がどんどん伸びてきて、鉢からはみ出しているよ。</p> <p>気付きの質を高める交流活動</p> <p>これまでの経験を生かして<br/>元気がないときはどうしたらいいかな。<br/>アサガオのときは、肥料をあげたら元気になったよ。<br/>肥料をあげるといいね。</p> <p>友達の野菜と比較して<br/>蔓がはみ出さないようにしてあげたいな。<br/>自分の野菜 ← 友達の野菜<br/>〇〇さんは、蔓を支柱に止めてあげているよ。</p> <p>・葉っぱが黄色くなったら、栄養不足なんだね。肥料をあげたらいいね。<br/>・支柱を立てるだけでなく、伸びた蔓は、ハナタイで止めてあげたらいいね。</p> <p>新たに見いだした気付きや活動</p> | <p>○ 野菜の生長や特徴への気付きを共有することができるようにするために、見取った気付きをカードに書き、同じ野菜ごとに発見ボードに貼り付ける。</p> <p>○ これまでの経験を生かしながら、自分の野菜に必要な世話に気付くことができるようにするために、「葉っぱに元気がないときには、どんな世話をしたらいいのかな。」と問いかける。</p> <p>○ 個への対応</p> <p><b>（1）進んで観察ができている子ども</b><br/>自分なりに考えて活動していることを称賛するとともに、なぜそのように考える問いかけ、その考え方のよさを認め、周囲に広げる。</p> <p><b>（2）活動に戸惑っている子ども</b><br/>「〇〇くんの野菜さんはどこが前と違うかな？」と具体的な観察の観点を与えたり友達の野菜と比較させたりする。</p> <p><b>（3）観察が早く終わった子ども</b><br/>やり遂げたことを称賛するとともに、他の視点から観察できないか問いかけ、違う視点をあたえる。</p> |
| 10 | <p>4 活動を振り返り、今後の見通しをもつ。</p> <p>・友達の野菜と比べてみたら、新しいお世話を見つけることができたよ。<br/>・野菜さんが大きくなるように、これからもお世話をがんばりたいな。<br/>・もっと野菜さんの喜ぶお世話がしたいな。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                     | <p>○ 自分の取り組み方のよさに気付かせるために、「野菜さんが喜びそうなお世話を見つけることができたのはどうしてかな。」と問いかける。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |